

施策番号	1102		
施策名	大学の国際化に向けた人材育成と留学生等の受入拡大		
概要	大学の国際化に向けて、国際社会で活躍できる人材育成を進めるとともに、海外への「大学のまち京都」の魅力発信を進め、留学生や研究者の受入拡大を図る。		
担当局・部室	総合企画局・総合政策室	共管局・部室	総合企画局・国際化推進室
上位政策	11 大学		
施策に関する 主な分野別計画等	国際化推進プラン 大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2014-2018		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	市内大学等の留学生数(人)	b	c	8,317	9,320	12,274	75.9%	c	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	c	客観指標総合評価				c	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思 わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	京都では、世界から留学生や研究者が集まり、国際社会で活躍する人材が育っている。	b	b	104 16.6%	269 43.0%	209 33.4%	32 5.1%	11 1.8%	625
2	京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。	a	a	228 34.1%	286 42.8%	119 17.8%	27 4.0%	8 1.2%	668
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		a	a	市民生活実感調査総合評価					a

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☐ 客観指標	c	☒ 市民の実感	a		
(重み付けの理由) 大学の国際化については、市民に成果が実感されることが重要であるため、市民生活実感評価を重視する。						平成30年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・市内大学の留学生数については、積極的な留学生誘致の取組などにより、一定の増加数を維持しているが、すべての施策において短期的に効果が表れるものではなく、将来的に留学を検討する層への情報発信など、一定期間を要するものもあることから、今回の評価結果になったものと考えられる。						平成29年度	A
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	留学生の就職支援・マッチング事業	16,610	16,801	良い	総合企画局
2	「大学のまち 京都」の魅力を体感できる短期留学受入事業	2,884	0	良い	総合企画局
3	留学生スタディ京都ネットワーク	17,978	18,181	良い	総合企画局
4	留学生交流促進事業	3,729	3,870	良い	総合企画局
5	留学生の生活支援の推進	18,351	19,323	良い	総合企画局
6	「京(みやこ)グローバル大学」促進事業	24,927	19,342	普通	総合企画局
7	全国から京都へ！留学生の戦略的誘致事業	0	9,577	—	総合企画局
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・グローバル化の進展に伴い世界的に留学生の獲得競争が激しくなるなか、「留学生スタディ京都ネットワーク」において、海外向け京都留学総合ポータルサイトの運営や海外での京都留学フェアなど、情報発信や受入環境整備に引き続き取り組んでいく。

・令和元年度から新たに首都圏の日本語学校で学ぶ留学生を主な対象に、京都の大学等への進学を促進するための誘致活動を実施していく。

・「京(みやこ)グローバル大学」促進事業において、認定した10大学における留学生誘致や日本人学生の海外留学派遣、交換留学につながる海外大学との提携等、大学及び学生の国際化促進に向けた取組を支援していく。

・来日直後の留学生に対する行政手続等に係る情報提供、支援メニューの提供、文化施設への入場優待、市内企業への就職支援等に取り組む、留学先としての京都の魅力向上を図る。

施策名	1102	大学の国際化に向けた人材育成と留学生等の受入拡大				
指標名	市内大学等の留学生数（人）					
担当課	総合政策室	連絡先	2 2 2 - 3 1 0 3			
1 指標の説明						
京都市内に本部を置く大学・大学院・短期大学に在学する留学生数						
2 指標の意味						
「大学のまち京都」の活性化に向けた大学の国際化の推進状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：留学生スタディ京都ネットワーク						
4 数値						
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	8,317	9,320	1,003人増	12,274	令和2年度目標値から各年度の目標を等差的に設定	75.9%
	全国順位	中長期目標				備考 日本語学校・専修学校を含めた留学生数 12,922人
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		15,000人	令和2年度	62.1%	京プラン実施計画第2ステージ	
5 評価基準						
6 基準説明						
7 評価結果						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			目標値を達成できればa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。			
平成29	平成30	令和元				
b	c	c				